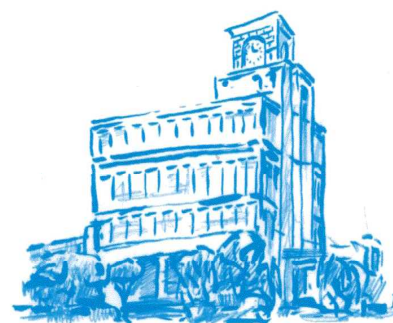


## 夏季研修から学んだこと

伊丹市立総合教育センター  
所長 太田 洋子

今年も総合教育センターの道徳教育実践講座の講師として貝塚市立東小学校長の川崎雅也先生をお迎えして研修を行いました。午前午後の丸一日の研修でしたが、36名の先生が参加され、演習を通した実践的な研修となりました。川崎先生には伊丹市の講師をお願いして3年が経ちますが、毎回新たな気づきをいただいています。今年、先生はこのように話しておられました。「他の教科は子どもがわからないことを教えるが、道徳は子どもが既にわかっていることを教えないといけない。だから、次の3点が大事です。1つ目は、自分のこととして考えさせること。2つ目は、物事を多面的・多角的に広い視野から考えさせること。3つ目に自己の生き方(人間の生き方)について考えさせることです。最終的には子ども一人ひとりが自分の生き方を見つめ直すことが大切です」



先生は、すべての道徳教材の指導案を自分で何回も改良を重ねて作られます。今回も26回書き直された「銀色のシャープペンシル(中学校教材)」や「はしのおおかみ(小学校教材)」等7つの指導案が配られました。先生はいつも「道徳の指導案を書くのが趣味です」と笑っておっしゃいますが、一つの物事を極めるということはこんなにも崇高で、人を感動させるのだとあらためて思いました。

その後、数学科研修会に来ていただいた武庫川女子大学の神原一之教授から教えていただいた「私が先生になったとき」という詩が心に残ります。この詩のような「志」を持つ先生方が育つ総合教育センターでありたいと思います。

私が先生になったとき  
自分が真実から目をそむけて  
子どもたちに本当のことが語れるのか

私が先生になったとき  
自分がスクラムの外にいて  
子どもたちに仲良くしろと言えるのか

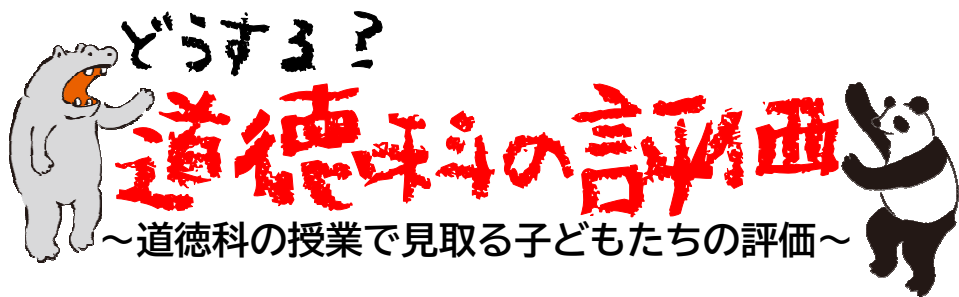
私が先生になったとき  
自分が未来から目をそむけて  
子どもたちに明日のことが語れるのか

私が先生になったとき  
ひとり手を汚さず自分の腕を組んで  
子どもたちにガンバレガンバレと言えるのか

私が先生になったとき  
自分が理想を持たないで  
子どもたちにいったいどんな夢が語れるのか

私が先生になったとき  
自分の戦いから目をそむけて  
子どもたちに勇気を出せと言えるのか

私が先生になったとき  
自分に誇りを持たないで  
子どもたちに胸を張れと言えるのか

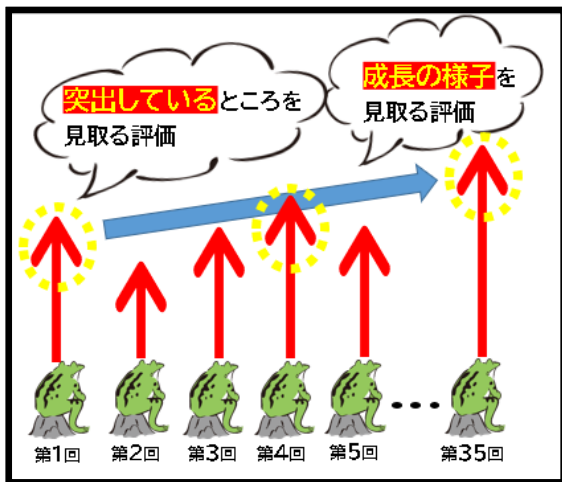


## 子どもたちの学習活動に着目した評価を行う 道徳的諸価値の理解に基づく

▶ 他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、  
一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか

▶ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

### 評価をするために必要な情報を収集する



↑ 授業1時間で見取るものではなく、  
年間35時間しっかり授業を実施して見取ること



↑ 成長を受け止めて認め、励ます **個人内評価**

参考動画：道徳科に求められる評価（浅見哲也氏）

校内研修シリーズNo46【NITS独立行政法人教職員支援機構】



### 評価のための具体的な工夫例

- ノートやワークシート等の活用
- 座席表等に子どもたちの活動内容や発言、学ぶ姿を記録
- 子どもたちの発言が書かれている板書をICT機器等で記録
- 子どもたちが授業後や学期末等に実施した振り返りを活用
- 具体的な評価についての校内研修を実施 …など

### 特に配慮すべきこと

- 授業中の発言がほとんどない子ども
- 文章表現が得意ではない子ども
- 表情にも表れにくい子ども

- 授業でどのように見取っていくのかを校内で検討しておくことが必要
- 授業者は、意図的に観察したり指名したりして評価できる根拠を集めることが必要

### 自己の(人間としての)生き方について考えを深める

#### 授業の終末で2つの視点から振り返りを書かせる

##### 1 級友の意見から

- 何を学んだ □ 何を得られた □ 何に驚いた □ 何を発見した…

##### 2 自分自身が

- 何を思った □ 何を感じた □ 何に気づいた □ 何を学んだ □ 何を新たに知った
- 授業のはじめとおわりで何か変わった □ 何が気になった…

#### 評価についてのポイント

道徳教育実践講座 講師

貝塚市立東小学校 川崎 雅也 校長先生より



#### ◎子どもの振り返りに対する評価をする

通知表の評価だけでは子どもの心は育まれない  
日々の授業で振り返りの評価をすることが必要

→ 良いと思ったところは線を引いたり、コメントを書いたりする

先生からの熱いメッセージは

子どもたちの心を成長させる

#### ★通知表には

子どもを認めたり、励ましたりする文章を書く  
愛情が感じられるようなメッセージを！！

講師から提言

「評価文をどう書けばよいか」という質問が多いが、  
大事なものは「教師が本当に評価できる力」をつけていかなければならないことである。

つまり、**子どもの心をよりよく理解できる力**をつけないと  
評価文は書けない。



# 夏季研修報告



岐阜聖徳学園大学 教授  
玉置 崇 氏

## 7/25 (木) トップリーダー研修②

講演テーマ

### 「新学習指導要領を踏まえた元気な学校づくり」

新学習指導要領の捉え方や、それを踏まえた授業力向上のための指導助言の方法について、講師の体験談を踏まえてお話いただきました。

また、学校とPTAが真に連携するためにどうしていくかについても、実例を基にお話いただきました。

管理職として、「学校が変わる」ために今何をしていくべきかを学んだ研修でした。



関西大学 教授  
黒上 晴夫 氏

## 7/31 (水) プログラミング教育研修

講演テーマ

### 「プログラミング教育をどうするか」

小学校におけるプログラミング教育として、どのような指導内容が想定されているか、新学習指導要領との関連を基にお話いただきました。また、プログラミング教育が将来子ども達にどのように役立つのか、そのためにこれからどのような授業を実践していくのかを学んだ研修でした。



小川中法律事務所 弁護士  
小川 中 氏

## 8/1 (木) 生徒指導対応力向上研修①

講演テーマ

### 「弁護士から見た重大事態の実態」

重大案件の定義とは何か、案件が発生した時の初期対応について、これまでに体験された対応を基にお話いただきました。

また、事案が発生した時の学校の初期対応の大切さやヒアリング技術とその留意点等を学んだ研修でした。

発行 伊丹市立総合教育センター

所在地 〒664-0898

伊丹市千僧1丁目1

平日(水以外) 9:00~21:00

水曜日 9:00~17:30

土曜日 9:00~17:00

電話 072-780-2480

FAX 072-780-2482

休館日 日曜・祝日、年末・年始

ホームページ <http://www.itami.ed.jp/>

教育相談

電話 072-772-6171 (電話相談)

平日:10:00~19:00 土曜:13:00~17:00

072-780-2484 (来所相談)

平日:10:00~17:00 ※予約制です

お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。

兵庫県教育委員会ひょうごっ子SNS悩み相談  
LINEを使って利用できます→

こまったことがあったらすぐ相談

